

# 2025年度 あらぐさ後援会総会議案

次 第

- 1 あいさつ あらぐさ後援会より  
あらぐさ福祉会より  
寄付金贈呈
- 2 議長選出
- 3 <一部> 議事
  - 1号議案 2024年度事業報告・決算報告・監査報告
  - 2号議案 2025年度事業計画・予算案
  - 3号議案 2025年度 役員選出
- 4 <二部> 「障害をもつ人たちと家族の災害対策、支援に学ぶ」
  - 1 能登半島地震現地支援活動報告 (あらぐさ職員)
  - 2 障害をもつ人たちと家族の災害対策について  
(乙訓手をつなぐ親の会)
  - 3 フロアからの発言、交流
- 5 閉会あいさつ

日時 2025年6月7日（土） 13：15～15：00  
場所 障害福祉センターあらぐさ 1階ホール  
長岡京市井ノ内広海道42-3 電話 075-953-9212

## 1 2024年度 事業報告

あらぐさ後援会では、3つの専門部(事業部・広報部・組織部)を中心として、あらぐさ福祉会の事業への支援と、「誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくり」を支援することを目的として、次の活動を展開しています。

### 1. 後援会イベント「みんなおいでよーあらぐさひろば」について

10月にひろばの開催を予定していましたが、感染拡大のリスクを考慮して中止とさせていただきました。出展や出演の準備をされていた協力団体の皆さん、当日の参加を楽しみにされていた会員の皆様には大変申し訳ありませんでした。中止の連絡が届かず、当日に訪れた方も7組程おられました。この場を借りてお詫びいたします。

代わる交流企画として、あらぐさ通信誌上にて自主製品の製作過程を題材にしたクイズ「どうやってつくってるの?」を実施しました。カラー化、A4サイズになった強みが発揮された内容となり沢山の応募とメッセージを頂きました。3月に抽選を行い当選者へ賞品の発送をしています。

### 2. 事業部活動

#### (1) あらぐさ支援募金の取り組み

後援会の入会の呼びかけとともに、支援募金も引き続き行いました。個人、会社、医院、商店からの募金のほか、あらぐさ利用者と職員とで構成している「ぱんだ企画」からは、年間に数回取り組んだ応援グッズ販売活動の売上げを、また後援会員有志による「みかん販売」の売り上げを支援募金としていただきました。

募金件数は246件(前年度は240件)、支援募金額は77万6800円(前年度は110万4000円)になりました。2011年度より取り組んでいるあらぐさ支援募金は、多くの支援者のご協力をいただき、あらぐさ福祉会へ施設整備支援の寄付を続けています。

### 3. 広報部活動

#### 1) 「あらぐさ通信」を計画通り、定期的に発行しました。

(1) 編集会議(7回開催)で企画を立て協議しながら、6月、9月、1月に3回発行(No.118~120)しました。

(2) 通信の紙面は、通信編集委員の皆さんにより、企画や取材、原稿依頼をし、作成しています。印刷や住所のラベル貼り、封入作業については、引き続き、障害福祉センターあらぐさ利用者の皆さんに仕事として発注し、発送作業を担っていただいています。

(3) 通信の内容は、表紙で利用者さんの日常のスナップ写真、利用者さんの地域生活、あらぐさと

私（職員3名）、後援会総会の報告、法人からの報告（事業、財務報告等）、各グループからの報告、作品の紹介（グループ別）、作品展の告知などでした。

写真や記事内容に含まれる個人情報については、慎重に確認しながら掲載しています。

- 2) あらぐさのホームページ (<http://www.aragusa-fukushi.jp>) で、通信のバックナンバーを閲覧できます。

あらぐさホームページ



あらぐさの日々・YouTube



#### 4. 組織部活動

2024年度の会員数は387団体個人（前年度、386団体個人）、会費合計56万7000円（前年度58万110円）でした。多くのみなさんに支えて頂きました。

2

## 2024年度あらぐさ後援会決算報告及び監査報告

### 2024年度あらぐさ後援会決算報告及び監査報告

#### 1. 2024年度 あらぐさ後援会 決算書

自:2024年4月1日 至:2025年3月31日



収入				支出			
	予算	決算	内容		予算	決算	内容
前年度繰越金	163,744	163,744		通信経費	200,000	172,248	通信郵送費・作業委託費・用紙代等
会費収入	600,000	567,000		事業費	250,000	262,425	クイズ賞品、後納郵便代、パソコン
事業収入	100,000	0		事務費	100,000	71,557	振込手数料・ハガキ・きょうされん会費
利子	0	46	通帳利子	予備費	163,744	0	
				寄付	150,000	100,000	法人へ寄附
計	863,744	730,790		計	863,744	606,230	

運営費より 100,000 円を、あらぐさ福祉会施設整備の資金として寄附いたします。

収支差額 124,560 円は、2025年度あらぐさ後援会会計に繰り越します。

#### 2. 2024年度 あらぐさ支援募金

自:2024年4月1日 至:2025年3月31日

月別募金状況	募金件数		金額	備考
	個人	団体		
4月	4	0	24,000	
5月	0	0	0	
6月	35	0	85,000	通信発行
7月	82	2	227,000	
8月	16	1	63,000	
9月	7	0	7,000	通信発行
10月	37	3	194,000	
11月	7	1	19,000	
12月	5	0	11,500	
1月	21	1	60,000	通信発行
2月	17	1	66,300	
3月	6	0	20,000	
計	237	9	776,800	

あらぐさ支援募金総額 776,800 円を、あらぐさ福祉会の施設整備資金として寄附いたします。

3. 社会福祉法人あらぐさ福祉会への寄附総額

1. 後援会会計より	100,000
2. あらぐさ支援募金より	776,800
計	876,800

監 査 報 告

監査の結果、適正に処理されていることを確認しましたので報告します。

2025年 5月 7日

会計監査

内藤敬子



会計監査

垣内良美



## 2号議案 2025年度事業計画・予算案

### 1 2025年度 事業計画

あらぐさ後援会では、無認可共同作業所の立ち上げに込められた思いと、法人の理念の実現を支える為に、今年度も地域に発信していく役割の一翼を担っていきたいと考えています。

今年度も、3つの専門部(事業部・広報部・組織部)を中心として、あらぐさ福祉会の事業へのさらなる支援と、誰もが安心して暮らし続けることができる地域づくりを支援することを目的として、次の活動を展開します。

#### 1. 「みんなおいでよーあらぐさひろば」を開催します（8回目）

日程 2025年11月8日（土）午後1時～ 場所：障害福祉センターあらぐさ敷地内

今年度も後援会会員のみなさんと周辺地域住民の方々をおもてなしする行事として、「みんなおいでよーあらぐさひろば」を開催します。「障害を持っている人たち、お年寄りや子どもたちにとって住みやすい街は、誰にとっても住みやすい街になるはず」という思いをもとに、地域の諸団体に参加を呼びかけ、共に楽しい「あらぐさひろば」をめざします。

会場の構成においては、引き続き感染予防に配慮して、開催時間や企画内容、コーナー配置など慎重に検討していきます。

#### 2. 事業部活動

##### （1）あらぐさ支援募金の取り組み

「くらしの場」づくりの施設整備を支援することを目的に、「あらぐさ支援募金」を訴えます。

あらぐさ支援募金	1口	1,000円
今年度目標額		90万円

##### （2）後援会独自の資金づくりの取り組み

後援会独自で物品販売等に取り組み、地域に支援を発信します。

##### （3）きょうされんの活動を支援していきます。

#### 3. 広報部活動

編集会議（広報部役員と会員による編集委員）で協議し、あらぐさ通信を定期的に発行します。

- 「あらぐさ通信」は、あらぐさ福祉会と協力して編集・発行します。後援会の活動を紹介し後援会員を結ぶ機関誌として、また、あらぐさの事業や実践を広く市民の方々に知っていただくための広報誌（情報誌）としての役割を果たしていきます。
- あらぐさ後援会員の感想を把握しながら、あらぐさの活動、地域での生活、後援会活動、障害者運動などを分かりやすく発信します。

### (3) 発行計画

- ・体裁等 A4 横書き 8ページ建て 必要に応じて「付録」を利用する
- ・発行部数／印刷 1,100部 印刷と発送作業を障害福祉センターあらぐさに委託する
- ・第3種郵便物で発送する
- ・年間計画 年3回(6・9・1月頃)
- ・カラー印刷

### (4) 年間の企画

- ・利用者さんの地域での生活
- ・あらぐさと私
- ・作品紹介
- ・障害者運動の動向
- ・後援会活動
- ・グループ活動の紹介
- ・法人報告 など

## 4. 組織部活動

会員ならびに支援募金の協力者を合わせて、500名を目標にめざします。

地域の諸団体と日常的な交流を図りながら、「あらぐさ通信」の読者を広め、入会者を増やしていくような活動をつくっていきます。

## 2 2025年度 あらぐさ後援会 予算書

自：2025年4月1日 至：2026年3月31日

収入		支出	
前年度繰越金	124,560	あらぐさ通信経費	200,000
会費収入	600,000	事業費	230,000
事業収入	30,000	事務費	100,000
		予備費	124,560
		あらぐさ福祉会へ寄付	100,000
計	754,560	計	754,560

**第3号議案 2025年度あらぐさ後援会 役員選出** (敬称略)

会長 大橋 瑞己

副会長 今西 さよ子

事務局長 増田 康夫

会計 安武 真理

役員 松村 誠

同 伊地知 有華

同 西岡 伸也

同 西井 美千代

同 真殿 尊子

同 三谷 文菜

同 坂本 靖子

---

会計監査 内藤 敬子

同 垣内 良美

**おわりに** あらぐさ福祉会と共に歩んで来た「あらぐさ後援会」ですが、これまでの20年の歩みを年表にまとめています。ぜひ、ご一読下さい。

2005年7月30日 (土)	「あらぐさの法人化を実現する会」総会にて、会を発展的に解消し、「あらぐさ後援会」として引き継ぐことが提案され、全会一致で決定される。新役員17名でスタートする。	障害福祉センター あらぐさ開所
2006年7月29日 (土)	2006年度総会。激しい雨の中、19名の出席。 竹防御のフェンスとトランスの保護ネット整備費補助と行事用テントを寄贈する。新役員15名を選出する。	450会員 13団体 437個人
2006年10月14日 (土)	「第2回あらぐさ秋まつり」にて、後援会からうどんの模擬店を出店する。	
2006年10月31日 (火)	「出直してよ！『障害者自立支援法』10・31大フォーラム」(於：東京)に、あらぐさ後援会より4名が参加する。	
2007年1月21日 (日)	障害福祉センターあらぐさ1階ホールにて学習会を開催する。 「障害者自立支援法の実際と活用～わたしたちはどうのぞむのか」峰島 厚(立命館大学教授)の講演	
2007年7月22日 (日)	2007年度総会が開催される。 新役員18名を選出する。	462会員 12団体 450個人
2007年10月13日 (土)	「第3回あらぐさ秋まつり」にて、後援会よりうどんの模擬店を出店する(150食)。	
2007年10月30日 (火)	「10・30 全国大フォーラム今こそ変えよう『障害者自立支援法』」(於：東京)に、あらぐさ後援会より4名が参加する。	
2008年6月7日(土)	映画と、明るい未来を語るつどい～地域で豊かに暮らし続けるために～きょうされん30周年記念映画「ふるさとをください」を上映する。70名の参加(於：あらぐさホール)	420会員 15団体 405個人
2008年7月26日	2008年度総会 餅つき用の臼・杵一式と紅白幕を寄贈する。 新役員17名を選出する。	
2008年10月18日 (土)	「第4回あらぐさ秋まつり」開催される。	
2009年6月20日 (土)	きょうされん映画「ふるさとをください」を向日市民会館市民ホールで上映する。	
2009年9月13日 (日)	2009年度総会を開催する。 新役員13名が選出される。	417会員 18団体 399個人

2010年2月14日 (日)	長岡京市産業文化会館1階にて～あらぐさの新たな挑戦！～「集合型ケアホーム」の建設をめざすあらぐさ学習会を開催。	
2010年4月18日 (日)	2010年度総会を開催する。 特別基金から1800万円を集合型ケアホーム建設支援のため寄付。あらぐさ集合型ケアホーム建設支援委員会を立ち上げる。 会員数の目標1000名を掲げる。・新役員13名	423会員 13団体410個人 686会員 寄付金800,000円
2010年6月19日	「あらぐさ集合型ケアホーム」建設をめざすみんなのつどい 建設資金3000万円募金よびかける。 アトリエ畔で支援絵画展・創作展を開催する。	29団体657個人
2010年12月末	建設支援募金2400万円を超える	
2011年6月12日 (日)	1部 2011年度総会 2部 学習会 訪問の家 田崎憲一氏による講演 「障害の重い人達の地域での生活づくり」 支援募金活動の報告 ・スタートイベント ・ご持参、振込などによる寄付・募金(1085個人団体) ・街頭募金(13回) ・募金箱(25箇所) ・支援募金協力の訴え(21箇所・団体) ・後援会物品販売(みかん・豆・黒砂糖など) ・家族、利用者、職員、他団体などによるバザー、支援グッズ販売、イベント出店による収益の寄付 ・新役員19名	建設支援募金 計28,299,483円  559会員 20団体539個人 寄付金400,000円 募金2,390,746円
2012年4月21日	2012年度総会 ・新役員19名 ・あらぐさ支援募金、後援会会計より寄付	492会員 18団体474個人
2012年6月23日 (土)	「あらぐさカミングデー」を開催する。 ケアホームいろどり・あらぐさの見学会が行われる。	
2012年10月28日 (日)	後援会が主催の 「第1回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。	寄付金200,000円 募金1,405,985円
2013年4月20日 (土)	2013年度総会 ・法人に寄付 ・新役員18名 第2部 「通信を見るあらぐさの歩み」 あらぐさ通信で歴史を振り返るスライドショーを上映する。	寄付金250,000円 募金1,272,000円
2013年10月27日 (日)	「第2回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。 地域の名産品を盛り込んだ福引きが好評を得る。 台風一過の好天に恵まれる。	
2014年6月21日	2014年度総会 ・新役員13名 第2部 「障害福祉センターあらぐさの活動紹介」 各フロア、グループの近況をスライドショーで上映する。	

2014年10月26日 (日)	「第3回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。	寄付金 350,000円 募金 986,952円
2015年4月25日 (土)	2015年度総会 ・新役員 13名 第2部 「障害福祉センターあらぐさの活動紹介」 各フロア、グループの近況をスライドショーで上映する。	寄付金 20,000円 募金 1,117,614円
2015年10月25日 (日)	「第4回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。	
2016年4月	2016年度総会が開催される。	寄付金 3000,00円 募金 844,666円
2016年10月23日 (日)	「第5回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。 ホールでのステージ発表を中心とした内容にリニューアルする。	
2017年6月3日(土)	2017年度総会 第2部講演「ハンセン病問題からみる人間の尊厳」を開催する。	給食ワゴン代として 12万円を寄付 募金 961,979円
2017年10月29日 (日)	「第6回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。 悪天候の中、多くの来場者に支えられ、無事に終了する。	
2018年5月12日 (土)	2018年度総会 第2部 出前ミーティング開催。テーマは「誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例」について。	寄付金 150,000円 募金 1,058,644円
2018年10月13日 (土)	「第7回 みんなおいでよー あらぐさひろば」を開催する。 多くの来場者に支えられ、盛況に終了する。ステージ発表では、こども達のフラダンスがとても好評でした。	
2019年5月11日 (月)	2019年度総会 ・新役員 13名 第2部 東日本大震災下の障害者を描いた、きょうされん40周年記念映画「星に語りて」～starry sky～を、法人との共催で上映する。	寄付金 100,000円 募金 1,121,105円
2020年6月	コロナ禍により、総会の開催を見送り、通信で付録として議案を送付する。 ひろばの予算を活用して、リモートひろばを通信誌上で展開する。自主製品の買い物補助券を配布する。	寄付金 250,000円 募金 1,117,993円
2021年6月	総会の開催は見送り、議案書を送付する。リモート広場の企画としてクロスワードパズルを掲載し好評を得る。応募はがきのコメント欄に沢山のメッセージが寄せられ、紙面に掲載する。	寄付金 250,000円 募金 1,050,942円
2022年6月4日	2年ぶりに総会を開催する。2部ではこれまでの後援会の歩みをスライドで紹介する。リモート広場の企画として、アート作品を募り、あらぐさ自主製品による福引も実施する。	寄付金 250,000円 募金 856,737円

2023年7月1日(土)	総会を開催する。2部にて講演会（講師：立命館大学・田村和宏氏）を開催する。講演内容（「共感力・集団の力で安心をつくる」）を通信に掲載する。	寄付金 200,000 円 募金 1,104,000 円
2023年10月7日(土)	あらぐさひろばを開催する。午後から開催し、模擬店は見合わせ、飲み物のみ販売した。ステージ発表中心の内容に変更する。	
2024年6月1日(土)	総会を開催する。野々下会長が退任され、新会長に大橋瑞己さんが就任する。2部にて新会長より講演「医療受診困難者がかかりつけ歯科をもつことの意義」をお話しいただく。 再び感染症の危機が高まり、あらぐさひろばを中止とする。代わりにあらぐさ通信誌上にて自主製品の製作過程をクイズとして出題し、沢山の応募とメッセージが寄せられる。	2024年度分 寄付金 100,000 円 募金 776,800 円

※ 寄付金＝後援会会計からの寄付 募金＝あらぐさ支援募金